

続・ふるさと

十九夜様と如意輪観音

たおやかな野仏

女性の講中に、二十三夜講と十九夜講とがある。二十三夜の本尊は勢至菩薩で、十九夜の本尊は如意輪観音である。

旧暦の毎月十九日には十九夜講が行われ、十九夜様と呼ばれた。十九夜は女性たちの講であり、女性たちにとって大切なもので、女性の諸々を含めて生きていく糧の一つであったと思われる。

現在でも芳志戸のある集落では、三月の日曜日に行われている。女性たちが公民館に集まり、「十九夜尊」と書いた掛け軸を飾り、十九夜念仏といわれる「十九夜如意輪観音和讃」を唱える。また、下高根沢の沼能弘

第55回

文・写真 大谷津忠一

光家には「十九夜和讃」、「十九夜御詠歌」とともに「血盆経和讃」も伝えられている。本尊に如意輪観音を祭り、女人救済の祈願が行われたことがこれで分かる。

紹介する如意輪観音は、下高根沢北部の山あいにある野仏である。この、たおやかなで草むらに楚々と立つ野仏の如意輪観音は、うつむきかげんで、うれいに満ちたお顔

で右膝を立て、頰杖をついている。昔の女性には如意輪観音に悩みや病などを一手に引き受けてもらい、救済し



▲如意輪観音

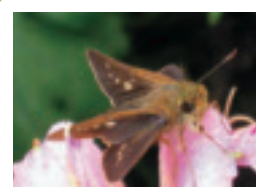
てほしいと願ったのではないだろうか。浮彫りされ光背を負い、静かなたずまいで草むすなかに座して、道行く女性たちの健やかな生活を願っているかのようである。

この集落では十九夜講が行われているかどうかは分からないが、たおやかな素晴らしい野仏である。



しまたがしの 芳賀の自然

07



イチモンジセセリ

チョウ目セセリチョウ科

(写真提供=芳賀町自然に親しむ会)

分布=日本全国(5月~11月)
特徴=ガの仲間と思われるように地味。幼虫はイネの害虫で、イネツトムシと呼ばれて農家の人には嫌われる。年に4~5回発生するが、8月下旬になると急激に数が増し、山間地から都市部まで見られるようになる。
食性=イネ科各種
大きさ=開張(羽を広げた最大値)35~40mm

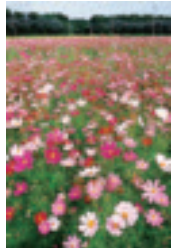
編集後記

□暑い夏も終わり、秋の気配が漂ってきました。今年も「暑い」と言いながら、町内各所へと取材に出かけました。考えてみると、気温や天気ToStrレスを感じることなく取材ができる時期は、短いかもしれません。

□秋は暑くも寒くもなく、取材にはもってこいの季節です。町のイベントも盛りだくさんで、皆さんの楽しそうな表情をカメラに収めるシャッターチャンスが続です。スポーツの秋、芸術の秋…。

■でも、一番楽しみなのは、食欲の秋かもしれせん。

(廿)



▲下高根沢のコスモス畑 (田澤勉さん撮影)

■編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
■発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
■芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp
📍芳賀町の携帯サイトはコチラから➡

